

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	栃木県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	今市市立今市第三小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	4	3	2	21	27
児童数	112	113	105	96	128	116	8	678	

研究の概要

1. 研究主題

<p>豊かな心と学ぶ力を育む授業の工夫 ～わかる楽しさを味わえる学習をめざして～</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～6年生・算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。 ・ 5・6年生・理科 教師の特性を生かすことによって、学習のおもしろさや教科の特性を子どもたちに感じ取らせると共に、複数の教師により子どもたちを見取り、支援することを可能にし、より大きな興味・関心を持たせるため。

(2) 年次ごとの計画

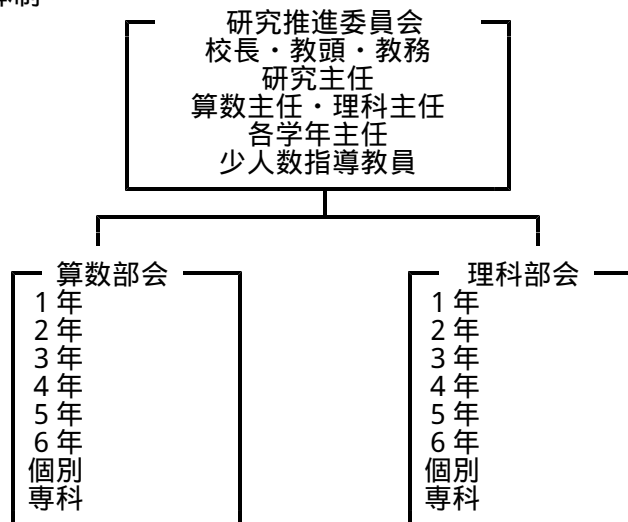
平成14年度	<p>テーマ 『個に応じた指導方法・指導体制の工夫』 ～算数科を通して～</p> <p>仮説 児童一人一人の個人差や実態に応じたきめ細かな指導を充実させることで、児童一人一人の学力の向上を図ることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 算数科での習熟度別学習に適した単元の精選と単元指導計画の作成 算数科を通じた習熟度別学習の実施 発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための教材開発 評価計画の作成とそれを生かした指導方法の改善</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 『豊かな心と学ぶ力を育む授業の工夫』 ～わかる楽しさを味わえる学習をめざして～</p> <p>仮説 基礎・基本の学力の定着を図り、児童の興味・関心に合わせた題材や体験的、問題解決的な学習を効果的に取り入れたり、個に応じた指導（少人数指導、T・Tなど）をしたりして、わかることの楽しさを味わえる授業の工夫をしていけば豊かな心と学ぶ力を持った児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 算数科を通じた習熟度別学習の充実 発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための教材開発 評価計画の見直しとそれを生かした指導方法の拡充 理科における単元指導計画の作成と教科担任制の導入</p>
--------	--

平成	<p>テーマ 『豊かな心と学ぶ力を育む授業の工夫』 ～わかる楽しさを味わえる学習をめざして～</p> <p>仮説 基礎・基本の学力の定着を図り、児童の興味・関心に合わせた題材や体験的、問題解決的な学習を効果的に取り入れたり、個に応じた指</p>
----	--

16 年 度	<p>導（少人数指導、T・Tなど）をしたりして、わかることの楽しさを味わえる授業の工夫をしていけば豊かな心と学ぶ力を持った児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 算数科における習熟度別学習の定着 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 評価を生かした授業の推進 教科担任制における理科学習のあり方と推進</p>
--------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>〔算数〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 習熟度別の少人数指導により一人一人にきめ細かな支援がなされ、どの児童も生き生きと学習することができた。 少人数指導により、個人差に応じた指導ができた。 学年（学級）の実態に合わせた、教材・教具の工夫をし、指導に当たることができた。 児童が、自分にあったコースの選択を適切に行えるようになってきた。 掲示物等の環境を整備することができた。 <p>〔理科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自ら問題を見つけ、解決していくことのできる児童の育成」ということで、各学年の発達段階に応じて身に付けさせたいことが明確になってきた。 子どもたち一人一人が自分の問題を持ち、観察や実験の計画を立て、目的意識をもって学習に取り組めるようになってきた。 T・Tで授業をすることによって子ども一人一人の問題に、よりきめ細かな対応ができるようになった。 コース別学習、課題選択学習の学習形態を取り入れ、より主体的に活動できるようになった。

2. 今後の課題

<p>〔算数〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業形態の工夫、習熟度別学習をより多くの単元で実施 個に応じた指導体制と支援の工夫 児童の意欲をさらに高めるための教材・教具の開発 習熟度別における評価の在り方 <p>〔理科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> T・Tが必要な単元や時間、一人でも十分な単元や時間をはっきりさせる。 評価の在り方（特に「問題を見つける力」「学んだことを生かす力」）
--

- ・ 理科室の環境整備
- [その他]
- ・ 保護者との連携、地域人材の活用

学力等把握のための学校としての取組

定期的な学力調査の実施（年1回）
 単元末のテストの実施（単元毎）
 レディネステストの実施（単元毎）
 チェックテストの実施（授業毎）
 自己評価カードの利用（授業毎）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 学習指導研修会
 日時 平成15年6月13日（金）
 場所 今市市立今市第三小学校
 対象 上都賀地区小学校・中学校
 目的 個に応じた指導方法・指導体制の在り方についての研修を深める。
- ・ 公開研究会（第一次）
 日時 平成15年10月30日（木）
 場所 今市市立今市第三小学校
 対象 上都賀地区小学校、市内中学校、市内幼稚園・保育園
 目的 フロンティアスクールとしての研究成果の普及を図る。
- ・ 公開研究会（第二次）
 日時 平成16年10月21日（木）
 場所 今市市立今市第三小学校
 対象 栃木県小学校、市内および地区内フロンティア校、市内幼稚園・保育園
 目的 フロンティアスクールとしての研究成果の普及を図る。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無